

年月日	2019年9月30日～10月2日
天気	3日共快晴
集合場所・時間	JR 芦屋南 6:45 (貸切バス)
参加人数	28名 (内V2名)
歩行時間・距離	コースタイムに記載
費用	約33,500円

コースタイム

9月30日(月) 全員

上高地バスターミナル 12:40～河童橋 12:45/12:48～休憩 13:28/13:32～明神 13:39～徳澤 (トイレ&休憩) 14:28/14:54～新村橋 15:07～休憩 15:28/15:35～横尾 (泊) 16:00

歩行時間 2:40、歩行距離 10.7km

10月1日(火) Aコース

横尾 6:22～休憩 2回 7分～本谷橋 7:36～休憩 3回 15分～Sガレ 9:02～休憩 2回 10分～涸沢小屋、ヒュッテ分岐 9:49/9:55～涸沢ヒュッテ 10:07。ヒュッテで大休憩とランチ。有志はパノラマコース周回 10:30～12:20。涸沢ヒュッテ 12:30～休憩 12:59/13:08～Sガレ 13:16～休憩 2回 15分～本谷橋 14:36～休憩 14:46/14:57～横尾 (泊) 15:55

歩行時間 5:57、歩行距離 12.3km

10月1日(火) Bコース

横尾 7:00～槍見台 8:00/8:20～横尾～徳沢、ランチ 10:35/11:20～明神館 12:40/13:10～明神池、穂高神社 13:10/14:10～明神館 14:30 (泊)

歩行時間 5:30、歩行距離 10.0km

10月2日(水) Aコース

横尾 6:09～休憩 6:39/6:42～新村橋 6:58～徳澤 (トイレ、休憩) 7:11/7:34～休憩 8:15/8:22～明神 8:36/8:52～穂高神社 9:04/9:11～右岸道～休憩 9:47/9:53～上高地絶景ポイント 10:27/10:36～河童橋 10:38。一旦解散、バスターミナル再集合 11:25

歩行時間 3:18、歩行距離 11.9km

10月2日(水) Bコース

明神館 7:40～右岸道～河童橋 9:00/9:15～ウエストン碑～田代池 10:15/10:30～バスターミナル 11:00

歩行時間 3:00、歩行距離 8.0km

感想

9月30日(月) 全員

当会設立15周年の記念行事、記憶に残る山行として「紅葉の涸沢」を計画しましたが、難関が2つ、山小屋の確保と天候です。7月に山小屋予約を開始しましたが、この時期の涸沢は大人気で上高地、徳澤、涸沢すべてが既に満室、最後の望みの横尾山荘を電話人海戦術で何とか28名分確保。後は天候ですが前週末時点で雨予報や台風発生で実行の決断が鈍ります。参加者に雨具準備を徹底の上実行することにしましたが、天候回復が急ピッチで進み、結果的には3日間とも快晴で北アルプス・紅葉の涸沢を十二分に堪能しました。観光客や外国人で一杯の河童橋で出発前の記念写真を撮り明神へ向けて出発、梓川沿いの道はいつ来ても素晴らしい。明神を過ぎ、徳沢でソフトクリームタイム！アルコール好きのオッサンも食べているが似合わない。横尾へ向かう道では川沿いの展望地からは前穂北尾根の鋭い峰々が姿を現し大感激！まだまだこれは序章ですぞ。横尾には16時頃到着、風

呂もお湯を十分に使い、湯船に浸かって明日へ向けて英気を養います。部屋はベッドスタイル（2段ベッド）、混雑時の山小屋の1畳に2-3人ではないのでゆっくりと寝られます。明日も晴れ、星空を観察、反省会もして疲れもあり早々にベッドへ。

10月1日（火）Aコース

横尾山荘では、午後9時消灯朝食午前5時からと文字通り山小屋の生活でした。1日（火）の日の出は5時40分で、秋になると太陽が低くなってくるので山々が赤く染まるそうです。（山荘のマウンテンパトロールから聞きました。）当日は晴天に恵まれ、気温も高めだったので用意してきたレインウエア・ダウンジャケットは必要なく、軽装で涸沢に向けスタートしました。歩き始めて1時間くらいするとナナカマドの紅葉している場所を発見、また下山してくる旅行会社の団体が多数あり、道を譲って通過を待つ事が多く秋の涸沢は超混みあいます。登り始めて2時間程して先行組と後続組の2班に分かれて出発、涸沢ヒュッテへの到着は、先行組9時45分、後続組10時09分となりました。

涸沢ヒュッテからの下山時刻は12時30分と幹事から説明があり、その間希望者はパノラマコースの周回、残りはヒュッテの展望台でのんびりと快晴の青空の下に広がる涸沢の紅葉、北穂高・奥穂高・前穂高の360度パノラマ絶景を楽しみました。涸沢カール大雪渓にはまだ万年雪残っており驚きです。「涸沢の紅葉を見ずして穂高を語ることなかれ」と案内板があり、今回は絶好の紅葉には少し早かったので機会があればもう一度来たい。

12時30分の下山も先行組と途中の景色を楽しむ後続組2班に分けて出発、Sガレ付近に横尾谷の梓川源流があるので確認したかったのですが、登山道から少し距離があり見られませんでした。残念！ 涸沢沿いに下りますが沢幅は少しずつ広くなり、横尾谷に合流、横尾山荘付近では20メートルぐらいとなっていました。

天候にも恵まれとても充実した1日となりました。

Aコース：パノラマコース周回

パノラマコースと言えども徳沢・新村橋から涸沢ヒュッテに直登する難コースではなく、涸沢ヒュッテから涸沢小屋を通して奥穂高岳に登るルートを進み、標高2,500m位から引き返してくるトレッキングコースです。横尾山荘から最終目的地である涸沢ヒュッテに到着後、有志だけでパノラマコースを周回する事になりました。涸沢ヒュッテから僅か200m登るだけですが、目的地に着いてからの更なる登りは結構キツイものが有りました。しかしながら苦あれば素晴らしい紅葉有りて涸沢ヒュッテでは見られなかったナナカマドの真紅な紅葉が真っ青な青空に冴え渡り、なんとも美しい景色を観賞する事が出来ました。この時期の紅葉は標高100m, 200mで大きな違いが有る事も実感しました。ただ快晴の下で奥穂高岳の頂上が手に届きそうな所から引き返すのはちょっと残念な気がしました。急遽パノラマコースを設定していただいたリーダーに感謝します。

10月1日（火）～2日（水）Bコース

今日はAコースのメンバーと別行動でTリーダーの下、計5名が蝶ヶ岳の登山道に入りカラマツハルニレ等の樹林帯の中をゴロゴロ石と木の梯子が続く悪路を登り槍見台を目指して歩きました。槍見台は少し広い展望台になっており北・西・奥・前穂高と天を突くように聳え立つ槍ヶ岳と小屋の赤い屋根が一望できました。ここまで十分に登山気分になることができ頑張ってきたかいがあったと素晴らしい絶景に暫くたたずんで見とれていました。

横尾山荘へ戻り、そこから明神館への道は、トレkkerやアルピニスト達が大きなリュックでグローバルな人たちが緑の森と高峰そして涼やかな清流の地を足取りも軽く上がって来ます。

途中にはアキノキリンソウ、ノコンギク、コマナ、イワカガミ等も楽しませてくれました。

明神の手前に徳本（トクゴウ）峠への分岐があります。明治時代には松本から上高地に入るには島々から標高 2140m の徳本峠を越えての長い登山道が唯一の道だったそうですが文明開化が進み安易に来られるようになり賑わいがありました。

野生猿 500 匹 熊も生息しているので、時代は経てもこの素晴らしい自然を大切に守り後々までも残していかなければと思いました。

山でのアクシデントは仕方ありませんが、若いハンサムな外国人が足を引きずりストックに助けられ歩みを進めていましたが隣の彼女は怒り顔！いづこも女性は強しと二人の今後を、かまびしい3人で余計な詮索をしてしまいました。

明神館の奥の宮は、神武天皇の親類でワタツミの神、穂高明神が祭祀されており鳥居に菊の家紋が付いた由緒正しい場所でした。私たちが入った湯舟からも鳥居と同じ雄大な明神岳を拝むことができ、神様に失礼ながらここでも手を合わせ参拝させていただきました。

この2日間、横尾から明神、右岸道、ウエストーン碑、左岸道と周回し1万8千歩、1万9千歩と健脚なリーダーに付いて行くのがやっとの踏ん張りでした。

ウエストーンの名パートナー、槍の神様と強力からも一目おかれた上条嘉門次さんにも引けをとらないであろう名ガイドTさんを私たちはお抱えにさせていただきました。感謝です。徳沢園での温かい珈琲とパン食のランチはとても美味しく気持ちがホットしました。

わが御足まかせでありますがお〇〇才になっても美しい花に会い、山に登り感動を味わいたいです。

7月から計画され、8月には宿確保の電話戦略と本当に多才な方々の尽力のおかげで素晴らしい聖地を歩くことが出来ました。良い宿とイワナのご馳走もありました。好天に恵まれた3日間 本当に心に残る風景と感動をありがとうございました。

10月20日 テレビ大阪で「高速の旅」大鶴 義丹の放送があります。明神奥の宮で撮影現場と遭遇しました

10月2日（水）Aコース

上高地でゆっくりしたいとの希望もあり横尾を早めに出発、徳澤でトイレとまたもやソフトクリームタイム。昨日涸沢にオフ日でトレッキングに来ていた従業員の彼女達にもご挨拶。明神からは梓川の右岸道を行きます。穂高神社奥宮へ寄ったあと右岸道を行きますが、梓川沿いの雰囲気のある木道を期待も補修中とのことで無粋な自動車道へ迂回。途中から木道へ戻りますが、半分損した感じ。河童橋手前の絶景ポイントへ来ました。昨日は涸沢から奥穂一吊り尾根一前穂の絶景を眺めましたが、上高地からはちょうど反対側となり、西穂、ジャンダルム、奥穂、吊り尾根、前穂、明神の大絶景です。記念写真を撮り終えたころにガスがかかり始め、我々の感激の山旅に幕が下りるが如くです。

買い物を済ませバスに乗り込み、途中の平湯で汗を流し、豪華弁当とビールで乾杯！

芦屋には18時半過ぎには到着、ここんとこ30度を超えていたらしく、また上高地に戻りたい！

3日間共歩行距離10km以上、皆さんよく頑張りました。まだまだ若い！